デジタル版
2025年
07月17日号
Vol. 167

成岡マネジメントオフィス事務所通信

NMO OfficeLetter

外食大手サンマルク京都に本社移転

新聞報道によると、外食大手のサンマルク（現在の本社は岡山市）が京都市内に本社を移転する計画だという。2026年５月に、下京区の四条烏丸京都三井ビルの４階１フロアを賃借し、主要な部門を移転する。移転する従業員は約100名で、登記上の本社は従来の岡山市に置いておく。

＜解説＞本社移転の狙いはまだまだ増えるインバウンド需要の取り込み。関西への外国人観光客の増加に対応し、関西各地への出店を加速するため、この京都市に本社を移転することとした。京都地元飲食店の買収も検討している。国内需要が今後先細りする中で、インバウンド外国人観光客と、海外進出を念頭に置いている。海外に進出する際には、本社が岡山市より京都市にあるほうがブランド価値が高いと踏んでいる。サンマルクホールディングス（持ち株会社）は1989年設立。東証プライム市場に上場する大手企業だ。主力はサンマルクカフェだが、パスタ専門店の「鎌倉パスタ」など、合計で国内に800店以上の店舗を運営している。京都では、2022年に二条城近くの喫茶店「ラ・マドラグ」を傘下に入れ、2024年には京都発祥の牛カツ専門店「牛カツ京都勝牛」を運営する株式会社ゴリップの親会社を110億円を投じて買収した。名門店舗が集積する京都に本社を置くことで、さらに地場のチェーン店や有名老舗などを傘下

に収めたいと目論む。飲食事業や喫茶事業は、店舗のブランドが重要。同社の2025年３月期の売上高は前期比約10％増加の708億円と順調な成長を刻んでいる。今回の本社京都市移転で、さらに加速をつけ1000億円の大台を目指す勢いがある。京都市内に本店、本社を移転することで、ブランド力にさらに磨きをかけ、一層の成長を目指す。京都に本社＝Head Officeがあることは、世界中に発信する際に大きなブランド価値となる。最近では、滋賀県大津市に本社があった日本電気硝子が京都駅南に本社の移転を決定した。京都市は本社を

移転する企業には補助金を出す制度を設け、2024年度までの３年間で148社がこの補助金を受け取っている。そのうち70社が京都には初進出だ。京都には約50校弱の大学が多くあり、学生人口は約14万人。140万市民の10人に一人が学生という計算になる。人口当たりの学生数は日本でも断トツに多い。しかし、地元企業に就職する率は20％を大きく下回る。多くの学生が卒業しても京都に残らない。企業の京都への転入で、地元に定着してくれる若い人口が増えることが副次効果で大きい。地元の活性化にもつながると期待されている。続いてどんな企業が京都に来るか。楽しみだ。

BUSINESS MANAGEMENT&COORDINATION
株式会社成岡マネジメントオフィス
〒616-8104　京都市右京区太秦下刑部町170
プレサンスロジェ太秦天神川駅前613
TEL:075-366-6611　FAX:075-366-6100　info@nmo.ne.jp

Copyright (C) Naruoka Management Office. All rights reserved.